

2003年 公民科倫理 2学期期末考查 正解と解説

大問	問題番号	正解	正答率	配点	大問	問題番号	正解	正答率	配点
1 64.0%	1	3	81	2	2	26	2	30	2
	2	8	73	2		27	2	50	2
	3	4	76	2		28	3	48	2
	4	7	75	2		29	1	22	2
	5	5	46	2		30	1	49	2
	6	6	68	2		31	2	53	2
	7	4	36	2		32	1	62	2
	8	3	54	2		33	2	34	2
	9	1	82	2		34	2	52	2
	10	3	67	2		35	3	38	2
	11	3	60	2	3 61.4%	36	2	93	2
	12	4	41	2		37	5	71	2
	13	2	93	2		38	1	80	2
	14	1	32	2		39	3	85	2
	15	3	57	2		40	4	60	2
	16	3	71	2		41	4	28	2
	17	1	76	2		42	1	63	2
2 44.1%	18	3	65	2		43	3	47	2
	19	4	51	2		44	3	62	2
	20	3	59	2		45	2	73	2
	21	4	49	2	46	3	59	2	
	22	6	28	2	47	1	45	2	
	23	4	41	2	48	1	51	2	
	24	1	26	2	49	1	53	2	
	25	4	36	2	50	1	51	2	

平均
56.5 点

点数	頻度	累積
95~100	0	0
90~94	8	8
85~89	8	16
80~84	22	38
75~79	10	48
70~74	26	74
65~69	26	100
60~64	37	137
55~59	27	164
50~54	42	206
45~49	29	235
40~44	36	271
35~39	14	285
30~34	20	305
0~29	15	320

解説

第1問 平均正答率 64.0%

問1 [1] 正解 81%

ヒエラルキー（ヒエラルヒー）とは階統制，位階制，身分階層制と訳されるが，中世のカトリック教会のようなピラミッド型の身分制をあらわす。マックス・ウェーバーは官僚制（ビューロクラシー）を説明する際にもこの言葉を用いたのだ。

[2] 正解 73%

ルネサンスのヒューマニズムは人文主義と訳される。

[3] 正解 76%

中世のスコラ哲学はアリストテレスの影響が強かったが，ルネサンス思想に置いてはプラトン主義や新プラトン主義が見直され，神秘主義思想も流行した。

[4] 正解 75%

科学革命とは一つにはコペルニクス（あるいはガリレオ）からニュートンまでの科学の方法の確立の時期をそう呼ぶ場合がある。それに対して，もっと広い意味では，現代の科学哲学者クーンは『科学革命の構造』の中で，古いパラダイムから新しいパラダイムへの変換・移行が科学革命であると考えた。

[5] 正解 46%

のデカルトと答えた人が24%いた。穴埋めに入れる言葉が曖昧だと思ったら，その段落全体を確認すること！ 教会の媒介や権威からの解放の話の後にルターを説明しているこの段落の流れの中では，デカルトではなく宗教改革を選ぶべき。

[6] 正解 68%

経験論の祖であり，学問の大革新をめざしたといえ，フランシスベーコン以外にあり得ません。

問2 [7] 正解 36%

トマス・アキナスがAだと答えた人があわせて44%いたが，トマスはアリストテレスの影響を受けているので，新プラトン主義の影響を受けているわけではない。Aの神秘主義神学はエックハルトの思想。Bの信仰と理性の調和（総合／両立）がトマス・アキナス。オッカムの思想は唯名論や信仰と理性の分極化が特徴でCが正解。Dはプリントにあるとおりドゥンス・スコトゥスの思想。

問3 [8] 正解 54%

はトマス・モア， はエラスムス， がベトラルカ， はマキャベリ， はボッカッチョ， 全部わかりましたか？

問4 [9] 正解 82%

ルネサンスの理想の人間像は homo universaris(普遍人・万能人)， homo economics (経済人) はアダムスミス以降の私利を追求する近代の人間像。 homo ludens(遊戯人) はホイジンガによる人間像。 Berufsmensch (職業人) はマックス・ウェーバーによる資本主義のエートスとしてのプロテスタンティズム的職業倫理をもった人。

問5 [10] 正解 67%

自由意志を人間の尊厳の根拠としたのがピコ。 非暴力の抵抗はガンディーやキング牧師。 ルターの思想。 パスカルの「人間は考える葦である」。

問6 [11] 正解 60%

4人に1人が と答えたが，『天文対話』はガリレイの著作だぞ！ 『アルマゲスト』はプトレマイオスの天動説を論じた権威ある著作。 『天球の回転について』がコペルニクスの著作。 『プリンキピア』はニュートンの主著『自然哲学の数学的原理』の略称。

問7 [12] 正解 41%

近代の数量的な自然観の樹立のために多大の貢献を行い，近代科学の父と呼ばれるのがガリレイ。

問8 [13] 正解 93%

惑星の運動を楕円軌道で著したのはケプラー。 万有引力の法則はニュートン。 相対性理論といえばアインシュタイン。 宇宙無限論を唱えたドミニコ会修道士はジョルダノ・ブルーノ。

問9 [14] 正解 32%

の適当でないところは，職業に励むことが地上に神の栄光を現すことであり，救いの予定の確信を得るといところがカルバンの説。 が40%いたが，善行は救いの条件ではなく，それを可能にしてくれるのも神の恵みであるというのがルターの考え。

問10 [15] 正解 57%

カルヴァンの予定説。 カルヴァンは行為の善悪すら神が予定していると考え。 万人救済説は異端と考えられた。 この考え方は機械論的決定論であり，神の存在に関わらず，物理学的法則によって運命が定められているという考え。 フランス啓蒙主義に特徴的な思想だ。

問11 [16] 正解 71%

マックス・ウェーバーの『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』の一部。 コンドルセはフランス革命を人類の歴史の進歩の頂点であると考えた。 ブルクハルトは『イタリア・ルネサンスの文化』を執筆し，普遍人という概念を

提示した。リースマンといえば『孤独な群衆』と他人指向型の大衆社会批判。

問12 [17] 正解 76%

モンテニユのキーワードは、『エッセー』(随想録)、ク・セ・ジュ(私は何を知るか?)、懐疑による先入観の排除。幾何学の精神と繊細の精神はパスカルのキーワード。三権分立はモンテスキュー。自然へ帰れはルソー。

第2問 平均正答率 44.1%

問1 [18] 正解 65%

いずれもラテン語。ロックの言葉「人間の心はタブラ・ラサ(白紙)」の元々の意味は、何も書かれていない板のこと。Cogito, ergo sumはデカルトの「我思うゆえに我有り」 bellum omnium contra omnesはホッブズの「万人の万人に対する戦い」 scientia est potentiaはベーコンの「知は力なり」

問2 [19] 正解 51%

文脈を見よう。この文章は「合理主義は、生まれつき人間の心には一定の知識が観念としてそなわっていて...」を受けてその理由を説明する部分である。したがって、合理主義の立場に立って、「有限な経験からの帰納」を否定的にとらえている必要がある。だから、 と は消える。選択肢の「独断的な意見」とは合理主義を否定的にとらえた言葉であるから、これも消える。演繹は確実な知識から始まるのだが、経験からの帰納によっては確実な知識が得られないからという が正解となる。

問3 [20] 正解 59%

[21] 正解 49%

[22] 正解 28%

ベーコンの著作。バークリーの著作。デカルトの著作。スピノザの著作。ホッブズの著作。ヒュームの著作。

問4 [23] 正解 41%

噂という言葉による偏見 = 市場のイドラ。

擬人化という、人間の種にもとづく思いこみ = 種族のイドラ。個人の体験にもとづく = 洞窟のイドラ。大学病院という権威に間違いがないはずであると考え = 劇場のイドラ

問5 [24] 正解 26%

は方法的懐疑をあらわすデカルトの言葉。

は帰納法について。は「知は力なり」の部分。

もベーコンの有名なフレーズ。

問6 [25] 正解 36%

[26] 正解 30%

は理性批判を論じるカントの言葉。はヒュ

ームによる因果律批判。自然の支配を描くベーコンの言葉。「存在するとは知覚されることである」というバークリーの言葉。

問7 [27] 正解 50%

デカルトの二元論は精神と物体の二つの別々の実体があることを主張する。

[28] 正解 48%

はライプニッツの单子論。アリストテレスの目的論的自然観。エンペドクレスの自然観。

問8 [29] 正解 22%

真理の相対性を求めるためではなく、絶対に確実な真理を求めるためにすべてを疑うのがデカルトの方法的懐疑である。を40%の人が選んだが、疑わしいものはすべて疑いつくし、排除した上で疑い得ないもの(コギト)を見出したのだ。

問9 [30] 正解 49%

神は自然を越えて存在するのではなく、世界 = 自然のすべてが神であるという考え。観念論の思想。無限な宇宙を説くブルーノの思想。

アニミズム。

問10 [31] 正解 53%

カルヴァンの予定説。ライプニッツの予定調和説。信仰義認説。アダム・スミスの神の見えざる手

問11 [32] 正解 62%

はフランクフルト学派の新フロイト派の思想家、フロムの著作。

問12 [33] 正解 34%

ともに定言命法に関わるカントの言葉だが、どちらが道徳法則の在り方を規定しているかということ、が無条件の道徳法則である定言命法の在り方をよく示している。カントの認識論。

カントの人格主義。この命令自体は無条件の命令なので定言命法ではある。

問13 [34] 正解 52%

カントは人格主義に基づく国家のあり方を目的の王国と呼んだ。はルソーの一般意志の考え方に近い。

問14 [35] 正解 38%

本文では弁証法という言葉は使われておらず、ヘーゲルについても語られていないので適当ではない。最後の段落にあるように、この問題は現代にも継続する課題だから適当ではない。実存的決断とは、どちらを選択して責任を負って生きるかということなので、「私たち自身にゆだねられた課題」としての哲学上の問題とはなじまない。は「哲学的な問題の所在を明らかにしている」という点が、リード文最終段落にある、認識や道徳の中に見いだされる哲学的な課題の提示を現している。

第3問 平均正答率 61.4%

問1 [36] 正解 93%

[37] 正解 71%

[38] 正解 80%

ルソー ホブズ グロティウス アダム・スミス ロック

問2 [39] 正解 85%

ホブズの主張した自然状態は「万人の万人に対する争い」「人間が人間に対して狼」。ルソーの自然状態。社会進化論（スペンサー）の社会観。ロックの自然状態。

問3 [40] 正解 60%

ルソーの強調する、全員一致の共同体の意志は一般意志であり。個人的な欲望の特殊意志の総和である全体意志ではない。

問4 [41] 正解 28%

「悪法も法であり従う義務がある」とする立場は、人類に普遍的な自然法に基づいて、個別の悪法は改正されなければならないとする自然法概念に対立する法実証主義の立場である。

問5 [42] 正解 63%

ロックは議会には立法権を、国王には連合権と行政権の権力分立を認める立場である。司法、行政、立法の三権分立を主張したのはモンテスキュー。

問6 [43] 正解 47%

ロックは生命、自由、財産などの所有権を自然権として認めた。

問7 [44] 正解 62%

かつてあった自由や平等を取り戻すための社会契約を論じたのがルソー。ルソーは国家自体が至高とは考えない。ルソーの社会契約は自己保存（＝自分の存在の維持）を目的としていない。

問8 [45] 正解 73%

の観念論よりもの弁証法のほうが、「自己止揚」する「思惟の運動の論理・法則」を正確に現している。

問9 [46] 正解 59%

「現実とは虚構」というところが間違い。世界理性ではなく、人間の理性を絶対視しているところが間違い。これはヘーゲルを批判したマルクスの言葉。

問10 [47] 正解 45%

国家への全面的服従が誤り。社会民主主義が誤り。これもマルクスの思想。には国家を人倫の最高形態とするヘーゲルの思想が説かれている。

問11 [48] 正解 51%

パスカルは17世紀フランスのモラリストであって、百科全書派ではない！

問12 [49] 正解 53%

モンテスキュー、ラ・メトリー、ヴォルテール。ディドロの各著作。

問13 [50] 正解 51%

歴史とは、理性による人類の進歩に他ならないと多くの啓蒙思想家たちは考えた。